

平成27年11月18日
愛媛大学

第41回ヘルスアカデミーを開催 「いのちの尊さを考える市民公開講座～人生の最後まで輝いて生きる～」

この度、愛媛大学医学部は、人の生と死を考える、第41回ヘルスアカデミーを開催します。このイベントは、市民の皆様にとって関心の高いテーマや身近な疾患などを取り上げ、各分野における専門家が、最新の治療法や予防法などをわかりやすく解説するもので、毎回多くの方に参加していただいています。

今回のテーマは「生と死」です。人生を総括する人の死は大きな重みがあります。今回、がんという病気を通じて人の生と死を考え、私たちの社会が病気を持つ人々をどのように支え共に歩むべきかを、3人のシンポジストを通じて考察します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時 : 平成27年11月23日(月・祝) 13:00～16:30 (開場 12:30～)
場 所 : いよてつ高島屋 9階 ローズホール
対 象 : 一般の方(参加費無料)
プログラム : 別紙をご参照ください
申込方法 : 別紙をご参照ください
定 員 : 先着250人(定員になり次第締め切らせていただきます)
主 催 : 愛媛大学医学部
共 催 : いよてつ高島屋

本件に関する問い合わせ先

いよてつ高島屋健康セミナー係 松田・鎌田
TEL:089-948-2437 Fax:089-948-2621
Eail: ekikaku@iyotetsu-takashimaya.co.jp

※送付資料2枚(本紙を含む)

受講者募集 参加費無料

〈第41回〉ヘルスアカデミー

「いのちの尊さを考える市民公開講座」 ～人生の最期まで輝いて生きる～

■日時／平成27年11月23日(月・祝) 午後1時～4時30分 ■場所／9階ローズホール

■募集人数／先着250名さま (定員になり次第締め切らせていただきます)

命の始まりと終わりには本来大きな隔たりはないはずですが、人生を総括する人の死には大きな重みを感じます。本講演では、がんという病気を通じて人の生と死を考え、私たちの社会が、病気を持つ人々をどのように支え共に歩むべきかを、3人のシンポジストを通じて考察いたします。

●午後0時30分～ 開場・受付

●午後1時～ 開会あいさつ ◎愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター センター長 櫃本 真幸 氏

講演「いのちの尊さを考える市民公開講座 ～人生の最期まで輝いて生きる～」

●午後1時10分～ 講演1 「解決が困難な苦しみを抱えた人への援助」

◎座長：四国中央市 HITO病院 外科(がん薬物療法)部長 井上 直也 氏

◎演者：横浜市 めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊 氏

〈小澤氏略歴〉

2006年めぐみ在宅クリニック開院。地域に根ざした緩和ケアに従事。

2015年4月有志と共にエンドオブライフ・ケア協会を設立。理事就任。

多死時代に向け、人生の最終段階に対応できる人材育成にも精力的に取り組んでいる。



小澤 竹俊 氏

●午後2時10分～ 講演2 「街は開かれたホスピスである」

～ケアできる場所はどこにでもある～

◎座長：愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
がん看護専門看護師 塩見 美幸 氏

◎演者：鹿児島市 堂園メディカルハウス院長 堂園 晴彦 氏

〈堂園氏略歴〉

国立がんセンター(現国立がん研究センター中央病院)レジデント、東京慈恵会医科大学講師、
鹿児島大学産婦人科講師を経て、1991年在宅ホスピスを開始。

1996年堂園メディカルハウス開院。通院・入院・在宅を組み合わせたホスピスケアを実行中。
NPO法人「風に立つライオン」理事長。ナガヤタワー 大家。



堂園 晴彦 氏

●午後3時10分～ 休憩 (10分)

●午後3時20分～ 講演3 「緩和ケアの教育 ～全人的ケア、死から生といのちを考える～」

◎座長：愛媛大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋 氏

◎演者：昭和大学医学部 医学教育推進室 高宮 有介 氏

〈高宮氏略歴〉

2007年より現職。緩和ケアを通じて、死から生といのちを考える講義、

コミュニケーション講義を昭和大学および全国に発信している。

大学病院の緩和ケアを考える会代表世話人。



高宮 有介 氏

●午後4時20分～ 閉会あいさつ ◎愛媛大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋 氏

お申し込み いよてつ高島屋健康セミナー係 松田・鎌田

●TEL(089)948-2437 ●FAX(089)948-2621 ●Email:ekikaku@iyotetsu-takashimaya.co.jp

※お預かりした個人情報は、今回のお申し込みのみに利用いたします。

主催:愛媛大学医学部 共催:いよてつ高島屋

受講者募集 参加費無料

〈第41回〉ヘルスアカデミー

「いのちの尊さを考える市民公開講座」

～人生の最期まで輝いて生きる～

■日時／平成27年11月23日(月・祝)午後1時～4時30分 ■場所／9階ローズホール

■募集人数／先着250名さま (定員になり次第締め切らせていただきます)

命の始まりと終わりには本来大きな隔たりはないはずですが、人生を総括する人の死には大きな重みを感じます。

本講演では、がんという病気を通じて人の生と死を考え、私たちの社会が、病気を持つ人々をどのように支え共に歩むべきかを、3人のシンポジストを通じて考察いたします。

●午後0時30分～ 開場・受付

●午後1時～ 開会あいさつ ◎愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター センター長 櫃本 真幸 氏

講演「いのちの尊さを考える市民公開講座 ～人生の最期まで輝いて生きる～」

●午後1時10分～ 講演1「**解決が困難な苦しみを抱えた人への援助**」

◎座長：四国中央市 HITO病院 外科(がん薬物療法)部長 井上 直也 氏

◎演者：横浜市 めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊 氏

〈小澤氏略歴〉2006年めぐみ在宅クリニック開院。地域に根ざした緩和ケアに従事。

2015年4月有志と共にエンドオブライフ・ケア協会を設立。理事就任。

多死時代に向け、人生の最終段階に対応できる人材育成にも精力的に取り組んでいる。

●午後2時10分～ 講演2「**街は開かれたホスピスである～ケアできる場所はどこにでもある～**」

◎座長：愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター がん看護専門看護師 塩見 美幸 氏

◎演者：鹿児島市 堂園メディカルハウス院長 堂園 晴彦 氏

〈堂園氏略歴〉国立がんセンター(現国立がん研究センター中央病院)レジデント、東京慈恵会医科大学講師、

鹿児島大学産婦人科講師を経て、1991年在宅ホスピスを開始。

1996年堂園メディカルハウス開院。通院・入院・在宅を組み合わせたホスピスカアを実行中。

NPO法人「風に立つライオン」理事長。ナガヤタワー大家。

●午後3時10分～ 休憩(10分)

●午後3時20分～ 講演3「**緩和ケアの教育～全人的ケア、死から生といのちを考える～**」

◎座長：愛媛大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋 氏

◎演者：昭和大学医学部 医学教育推進室 高宮 有介 氏

〈高宮氏略歴〉2007年より現職。緩和ケアを通じて、死から生といのちを考える講義、

コミュニケーション講義を昭和大学および全国に発信している。

大学病院の緩和ケアを考える会代表世話人。

●午後4時20分～ 閉会あいさつ ◎愛媛大学大学院 医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授 薬師神 芳洋 氏

お申し込み いよてつ高島屋健康セミナー係 松田・鎌田

●TEL(089)948-2437 ●FAX(089)948-2621 ●Email:ekikaku@iyotetsu-takashimaya.co.jp

※電話・FAX・Emailでお申し込みいただくか、下記に必要事項をご記入のうえ、1階または3階の案内所にご提出ください。

※お預かりした個人情報は、今回のお申し込みのみに利用いたします。

主催:愛媛大学医学部 共催:いよてつ高島屋

いよてつ  Takashimaya MATSUYAMA

-----〈切り取り線〉-----

〈第41回〉ヘルスアカデミー

「いのちの尊さを考える市民公開講座 ～人生の最期まで輝いて生きる～」

〈お申込書〉

※必要事項をご記入のうえFAXまたは、
1階・3階の案内所にご提出ください。

フリガナ	
お名前	TEL()